

愛媛暮らし応援サイト

愛媛県への移住に関する情報は



えひめ移住支援ポータルサイト e移住ネット

<http://www.e-iju.net/>

えひめ 移住

愛媛県への移住や中・長期滞在希望者が必要とする情報を一元的に提供するポータルサイト。住まいや就労、生活関連情報をはじめ、移住体験談やQ&Aなど、さまざまな情報を発信しています。



えひめ県内の移住向け物件サイト えひめ空き家情報バンク

えひめ 空き家

移住希望者の関心の高い「田舎物件」や「短期お試し住宅」情報など、愛媛県内の空き家情報を提供する「えひめ空き家情報バンク」を「e移住ネット」内に開設しています。

えひめの旬情報をメールで配信

えひめファンクラブ会員募集!(登録無料)

えひめ ファンクラブ

「愛媛に興味がある」「愛媛で暮らしてみたい」「愛媛を訪れてみたい」と思われている方を対象とした「えひめファンクラブ会員」を募集しています。

登録していただいた方には、市町の移住支援情報やイベント情報など、愛媛の旬情報をメールにてお届けしますので、「e移住ネット」からお申し込みください。

20市町ワンストップ窓口

愛媛県の20市町では、移住・交流を希望される方からの相談に対応するワンストップ窓口を設けています。気軽にご相談ください。

市町	担当課	電話
今治市	地域振興課	0898-36-1514
新居浜市	経済部別子山支所経済係	0897-64-2011
西条市	商工労働産業政策係	0897-56-5151
国体中央市	総務課	0896-28-6002
上島町	岩城総合支所産業振興課農業振興係	0897-75-2500
松山市	企画政策課地域振興担当	089-948-6816
伊予市	まちづくり創造課	089-982-1111
東温市	企画財政課企画政策係	089-964-4401
久万高原町	企画観光課企画政策係	0892-21-1111
松前町	総務課企画政策係	089-985-4103
砥部町	企画財政課企画政策係	089-962-7250
宇和島市	商工観光課雇用対策係	0895-24-1111
八幡浜市	政策推進課企画女性係	0894-22-3111
大洲市	企画調整課地域政策係	0893-24-2111
西子市	企画調整課地域振興係	0894-62-6403
内子町	総務課行政財政課	0893-44-2111
伊方町	政策推進課	0894-38-2659
鬼北町	企画財政課企画係	0895-45-1111
松野町	総務課	0895-42-1111
愛南町	企画財政課企画調整係	0895-72-7317

愛媛県の移住相談窓口

「愛媛ふるさと暮らし応援センター」では、2名の専任スタッフが「えひめ移住案内人」として、移住交流の様々なご相談に応じています。どんなことでもお気軽にご相談ください。

愛媛ふるさと暮らし応援センター

[住所] 愛媛県松山市宮西一丁目5番19号
愛媛県商工会連合会館3階(JR松山駅より徒歩約5分)
[受付時間] 月～金曜日・午前8:30～午後5:15
[電話番号] **089-922-4110** (よひ移住)
[FAX番号] 089-926-2205
[Eメール] info@e-iju.net



愛媛県東京事務所

[受付時間] 月～金曜日・午前8:30～午後5:15
[電話番号] **03-5212-9071**
[FAX番号] 03-5212-9072

愛媛県大阪事務所

[受付時間] 月～金曜日・午前9:00～午後7:00
[電話番号] **06-6441-2829**
[FAX番号] 06-6441-2830

伊予銀行が 愛媛県への 移住・交流をお手伝い

愛媛県への移住交流希望者を応援するため、伊予銀行の四国外支店26店舗に「愛媛移住・交流紹介コーナー」を設置しています。愛媛県へのU・Iターンを考えていらっしゃる方は、お近くの伊予銀行四国外支店の窓口もご利用ください。▲窓口のミニのぼりが目印

おかえり愛媛通信

Welcome home!

発行●愛媛ふるさと暮らし応援センター



愛媛をもっと知りたい! 話題の新スポット & 高速道路無料化など愛媛がもっと楽しくなる情報です!!

「坂の上の雲」のまち 松山 スペシャルドラマ館オープン!

ドラマの名シーンも多数再現! 明治松山の魅力を体験しましょう。



▲スペシャルドラマ館の展示コーナー。

松山城ロープウェイ駅舎2FにNHKスペシャルドラマ「坂の上の雲」のストーリーにもとづく、明治松山の魅力を体験できる「スペシャルドラマ館」がオープンしました。

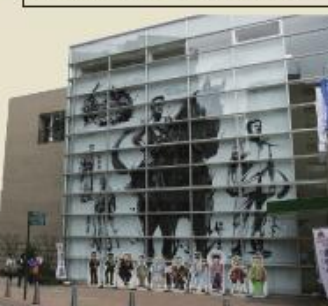
「坂の上の雲」のまち 松山 明治体感 まつやま博のメイン施設として作られたもので、明治を松山で体感してもらうため、ドラマの衣装、小道具、映像などドラマの世界を感じさせてくれる展示空間になっています。映像シアター「パノラマ館」では、ドラマのダイジェスト版が放映されます。正岡子規、秋山好古・真之兄弟などドラマの主人公たちを育んだ伊予松山の当時の暮らしぶりの展示や紹介を通して「明治」を体感することができます。ドラマ館は2012年1月まで開館予定です。

▶松山城ロープウェイ駅舎には巨大な正岡子規、秋山好古・真之兄弟のイラストが描かれています。



▲ドラマにも使われた28センチ榴弾砲のレプリカが展示。

場所 ■愛媛県松山市大街道3丁目2-6 松山城ロープウェイ駅舎2F
TEL ■089-921-0041
開館時間 ■8時30分～17時30分 (8月のみ18時)
入館料 ■大人(中学生以上)600円・子ども(小学生)300円
入館記念品「道後の湯(入浴剤)」付



伊予の国えひめの逸品物産館

スペシャルドラマ館手前に道路をはさんで「伊予の国えひめの逸品 物産館」がオープンし、小説「坂の上の雲」にちなんだ商品をはじめ、愛媛・松山の農水産品や銘菓が販売されています。



▲店内には小説「坂の上の雲」にちなんだ商品や愛媛の銘菓がそろそろ。奥には休憩コーナーもあります。

場所 ■愛媛県松山市大街道3丁目6-1 网络産産ビル1F
TEL ■089-941-0141
開館時間 ■8時30分～18時(夏場18時30分)

松山から南予へ、四国西南へ

松山自動車道、松山IC～西予宇和IC区間の高速道路無料化社会実験がスタート。高速道路無料化社会実験がスタートします。愛媛県では松山自動車道の松山ICより南が対象区間となっています。また、国道56号「宇和島道路」の宇和島南IC～津島高田IC間が自動車専用道路として開通し、無料で供用されており、より一層便利になっています。高速道路無料化で、内子町、大洲市、西子市、宇和島市、愛南町など愛媛のレトロな町並みが続く南予地方へのドライブや観光を多に楽しめましょう。

(※高速道路無料化社会実験の開始時期は料金システムなど準備状況を勘案して決定予定)

東平(とおなる) 別子銅山産業遺産

日本のマチュピチュともいわれる東平の産業遺産を訪ねてみよう。新居浜市、別子銅山跡、東平地区には旧別子銅山のさまざまな産業遺産が点在しています。日本のマチュピチュともいわれる「東平」は標高750mの山間にあります。ここには大正5年(1916)から昭和5年(1930)まで、別子銅山の採鉱本部が置かれていました。最盛期には約3800人が住んだ山の町として、社宅や小学校跡、貯蔵庫跡、旧インクライン、索道停車場、旧東平第三変電所、旧保安本部などの産業遺産が残っています。また、東平の往時の様子が見学できる東平歴史資料館や銅板レリーフの手づくり体験ができる東平メイン工房などもあり、楽しめます。



▲旧長田小学校を背景に加藤さん・美穂さんご夫婦と久保さん。

知りたい!

聞きたい!

愛媛暮らしの魅力と地域のサポート



取材場所
愛媛県内子町
長田地区

移住には移住者、地元、行政との連携や相互協力が大切です。移住者のよりよい愛媛の暮らしを支える情報提供、地元サポート、相互協力などの現状をご紹介します。

ご近所の方からいっぱいお祝いをいただき、ご自分のお孫さんのように喜んでいただきました。子どもが生まれるということは高齢者の多い地域にとって、とても活力と喜びを生むことなんですね。

上山

お仕事のほうはどうなっていますか?

加藤

農業の方は家から車で5分のところに、約6反ほどの耕作地を借りています。季節の野菜を作っていますが、現在は自家利用がほとんどで、時々、道の駅「フレッシュパークからり」の直売所で販売をしています。将来はもっと販売を増やしていきたいと思っています。

地域に溶け込むことが大切です。

上山

受け入れた地域の自治会長の久保さんは加藤さんの移住をどう思われましたか?

久保自治会長

長田地区は内子町の山間部にあり、現在61世帯、人口120人の典型的な過疎地で、高齢者の多い地域ですが若い加藤さんご一家を含め7家族、23の方が移住して生活しています。民生委員を担当させていただいている方もおり、加藤さんをはじめ、とても良い方ばかりで若い方が地域に入ってきていただきありがたいことだと思っています。



長田自治会館(旧長田小学校)



移住者 加藤さん(35歳) 長田地区自治会長 久保道子さん(73歳) 内子町役場 上山洋一さん

緑のある土地だったので迷わず決めました。

上山

まず、はじめに内子町へ移住するきっかけをお聞かせ下さい。

加藤

私は広島県出身で広島市で、福祉関連の団体で働いていましたが、将来は農業をやりたい、田舎で暮らしたいと思っていました。移住を決意した際、農業だけでなく経済的に安定するためには、農業以外の収入源が必要だと思い、大分県の由布院で3年間、お椀やお盆などの木工品を作る「木地師」として、修行しました。

上山

移住先を内子町長田地区に決められた理由は何ですか?

加藤

長田地区へ移住したのは平成19年11月です。妻の実家が松山市で、以前、妻が農業体験でこの長田地区に来たことがあり、移住先は迷わず、ここに決めました。その時、指導していただいた方も移住者で、先輩移住者として、現在もいろいろと相談にのっていただいています。

上山

現在のお住まいとご家族構成はどうなっていますか?



▲旧長田保育所だった建物に工房を増設。

加藤

現在、廃校になった長田小学校の隣に、住居と工房があります。内子町役場から提供いただいた情報の中から選びました。家族は妻と6歳、1歳の子どもの4人家族です。2番目の子どもは、移住後にここで生まれました。



①ひとつ、ひとつ丁寧に手造りする加藤さん。②手造りの工房内部。③柿、栗、枇杷など木工品の材料を乾燥させる。④粗彫りし乾燥させる。⑤作るのは匙(さじ)やお椀など身近な生活用品。

木地師としては、木のスプーンやお皿、お椀などの生活用品を中心に作っています。移住者仲間と開く「丘の上の日曜日」や松山、関西方面の雑貨店などで販売しています。工房を建て増しする際には、ご近所の人たちに手伝っていただき、地域の方の温かい気持ちを感じました。



見晴らしの良い耕作地。

上山

久保会長には、加藤さんの移住後のサポートも行っていただいています。地元の方との交流はいかがですか?

久保自治会長

まず、長田地区に溶け込んでいただきたいと思い、地元の方の特徴や家族構成などをお話しました。地域にどんな人が暮らしているのかを知っていただく事は、とても大事なことだと思っています。時には私が橋渡しをすることもあります。また、長田自治会館(旧長田小学校)で行われる長田食の文化祭や、地区の行事にも積極的に参加し、地元の方と交流を深めていただいています。小さな子どもたちが元気に走り回る姿は、高齢者にとっても元気の素になります。特に加藤さんは消防団にも入っており、地域の方との交流が深まっていると思います。

加藤

自治会長の久保さんには本当に感謝しています。気さくに声をかけていただき、妻ともどもお世話になっています。

ご近所から1度に食べきれないほどいただいたシイタケ▶



経済的に自立し、地域に根付きたいですね。

久保自治会長

内子町の移住者の受け入れ体制はどうですか?

上山

内子町としては、これまで石畳地区、長田地区を中心に移住者を受け入れてきましたが、今後は町内全体に広げていきたいと思っています。また、移住者が増加する中で、受け入れる側の空家情報や就業支援などの情報サポートだけでなく、移住後の地域との交流を、どうスムーズに行うかも重要なテーマだと考えています。そのために移住者の相談相手を自治会長さんなどをお願いしていますが、もっと充実させていく必要があると思っています。

上山

移住されてみて、行政にお願いしたいことはありますか?

加藤

そうですね、移住者同士のネットワークづくりを、もっとサポートしていただきたいですね。先ほどご紹介した月1回開催する「丘の上の日曜日」は、移住してきた人たちが得意分野の手作りの品を持ち寄り、販売できる場所となっています。

上山

内子町では毎年、「移住者交流会」を開催しています。移住者だけでなく、移住者がお住まいの地区の自治会長さんなども参加していただき、交流を深めたり、意見交換をしています。昨年は約50名、今年は約70名が参加と増加しています。

上山

今後の予定や見通しはいかがですか?

加藤

とにかく、経済的にまず自立することです。木工品の製作と農業とを両立させ、どちらも確実に収益が上がるようにしていきたいですね。木地師として収益がもっと上がれば、材料の木材を地元から買うことができるなど、お世話になった地域の皆さんにもお返しができ、地域が潤うようなと思っています。

現在、子育て真っ最中ではありますが、妻とも協力して長田地区に根付いた暮らしを確立したいと思っています。

上山

本日はどうもありがとうございました。